

# 登米市医療の改善・充実に 株式会社太田組が軽自動車3台を市に寄贈

株式会社太田組（南方）から市に対し、地域医療の改善・充実に軽自動車3台（トヨタ・ピノ1台、ホンダ・ライフ2台、合計235万円相当）と教育の充実へと児童用図書210冊と書架1台の寄贈をいただき、6月26日、市役所庁舎前で贈呈・納車式を行いました。

同社は1959年5月、土木工事、建設工事などを扱う企業として旧南方町太田で創



大石病院事業管理者（左）にキーが渡されました



握手をする太田代表取締役（左）と布施市長（右）

業し、今年5月、会社設立50周年を迎えたことを記念し、市へ寄贈を決められました。また今回の寄贈に先立ち5月には、地域医療の充実にと、現金500万円の寄贈を頂いています。

式では、寄贈車両を前に、太田陽平代表取締役から「教育、福祉に役立てていただきたい」と、布施市長に図書目録、大石洋司病院事業管理者に車検証と鍵がそれぞれ手渡

されました。その後、布施市長と大石洋司病院事業管理者から太田代表取締役に感謝状が贈呈されました。布施市長は「市民の皆さんから、介護の重要性と充実が大きく求められている中、患者と医療を結ぶのに欠かせない多大なご寄贈を頂き感謝します。同社の厚意が大きな形で実を結ぶような取り組みを実施していきたい」と感謝を述べました。

寄贈された車両は4人乗りの軽自動車で、豊里、米谷両病院の訪問看護ステーションに配置（豊里2台、米谷1台）し、看護師による訪問看護指導用車両として利用されます。図書と書架は、太田代表取締役の母校である佐沼小学校図書室に配置され、児童の学習に活用されます。現金500万円については、登米市地域医療対策整備基金を新設し、地域医療の整備と充実に目的として運用していきます。

## 明るいまちを築くために

### 社会を明るくする運動 メッセージ伝達・啓発活動

社会を明るくする運動の法務大臣からのメッセージ伝達と、啓発運動が7月1日に実施されました。

この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、市民が協力して明るい社会を築こうとする全国的な運動です。



ロックシティ佐沼で行われた啓発活動



柴田会長から布施市長にメッセージが手渡されました

市役所庁舎で行われたメッセージ伝達には、登米南三陸保護司会会長の柴田文興さん（登米）ら5人が出席。柴田会長が法務大臣からのメッセージを朗読し、布施市長に手渡しました。

市長は「非行や犯罪が起きないよう、多くの人たちに見守ってもらえる環境を築いてほしい」とあいさつしました。その後、ロックシティ佐沼シヨッピングセンター、ヨークベニマル佐沼店、みやぎ生協加賀野店において、市内9地区の保護司会や更生保護女性会などの会員が参加し、啓発活動を実施。来店者に啓発用のチラシやポケットティッシュを配り、犯罪や非行防止などを呼び掛けました。

## 県大会への切符を懸けて 登米市の若者がスポーツを通して交流

第4回登米市青年体育会（市青年団連絡協議会・市教育委員会主催）が6月28、29日の2日間、津山若者総合体育館を主会場として開催されました。この大会は、一部の種目を除き、国体や国際競技会などに参加した経験のある人は参加資格がなく、普段は働きのながらも、地域で地道にスポーツや文化活動に携わっている35歳までの市内の青年たちが一堂に集い、スポーツを

通じて交流を深めることを目的に開催されています。開会式では、市青年団連絡協議会の鎌田和敏会長が「青年大会は青年の手によって運営される大会です。皆さん大いに頑張ってください」とあいさつ。また庄子市議会議長をはじめ、多くの来賓から祝辞をいただきました。大会は軟式野球、バスケットボール、フットサルなど9種目を実施。市内から約45

0人の青年が参加し、各会場ですべての切符を目指して、熱戦を繰り広げました。各競技の選手たちは、日ごろの練習成果を発揮するとともに、試合を通してお互いに交流を深めていきました。上位入賞のチームは、8月に開催される宮城県青年体育大会に出場します。全国大会出場を目指し、県大会でも登米市各チームの活躍が期待されます。



若者らしく力強い選手宣誓が行われました



津山マリナーズ対石越クラブ【軟式野球】



米山クラブ対S・P・C（南方）【バスケットボール】

## 歌い継がれた民謡の祭典

### 第2回夏の山唄全国大会



全国各地から集まった参加者が自慢ののどを披露

第2回夏の山唄全国大会（同実行委員会主催）が7月13日、米山体育館で開催されました。昔から農村部に伝わる朝草刈りの仕事唄として歌われていた「夏の山唄」を後世に伝え、地域の文化振興と民謡の

普及を目的に開催。「少年少女」「熟年」「一般」の部に、全国各地から225人が出場しました。当日は、予選会に続き決勝大会が実施され、参加者が自慢ののどを披露。迫力ある歌声で夏の山唄を歌いました。また、会場ではアトラクションとして、善王寺小の「子ども民謡クラブ」の皆さんによる田ならし唄などの民謡が披露され、観客は皆、見事な歌声に聞き入っていました。大会結果は次のとおりです（敬称略）。【少年少女】優勝 鈴木あかね（中田）【熟年】入賞 熊谷正幸（中田）千葉清男（石越）【一般】入賞 猪股一雄（石越） ※市内上位入賞者のみ掲載



子ども民謡クラブの皆さんによる民謡の発表